

アピール

私たち連合は、「医療と介護の現場にさらなる処遇改善を！」をテーマに、「医療・介護フェス 2023」を開催し、医療と介護の現場で働く仲間とともに課題認識を共有しました。

すべての働く仲間が安心して働き続けるためには、質の高い医療・介護サービスの確保が不可欠であるにもかかわらず、医療と介護の現場では慢性的な人材不足が続いています。3 年以上にわたるコロナ禍で、医療と介護の現場で働く仲間は、患者・利用者を含めた感染拡大の防止に努めながら、日々懸命に闘ってきました。新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2類相当から5類に変更され、社会・経済環境は平時への移行が進んでいくことになります。しかし、医療と介護の現場では感染防止のためにこれまでと変わらない緊張感を求められており、これによって職場環境が改善するとは言えません。

昨年 10 月には診療報酬・介護報酬の臨時改定により処遇改善の加算が拡充されました。しかし、加算の対象となる医療機関や事業所が限定的であることや、それぞれの職種に配分することの難しさなど、課題が残されています。何より、現在の賃金水準は、物価上昇でなくとも決して十分ではありません。命とくらしを守る仕事に見合う賃金となるよう、さらなる改善を継続的に進めて、医療と介護の現場における人材確保を実現しなければなりません。

同時に、医療現場では、長時間労働の是正や勤務間インターバル制度の導入などにより離職防止をはかり、質の高い医療を確保することが重要です。介護現場では、文書負担を軽減するなど、利用者のために安心して働き続けることができる環境整備により、ケアの質を向上させることが重要です。2024 年度診療報酬・介護報酬の同時改定では、こうした現場の声を受け止め、医療と介護の現場で働くすべての仲間の賃金・労働条件の改善と人材確保につなげていく改定こそ不可欠です。

私たちは、職場における健全な労使関係を構築し、組合員の輪を広げ連帯を強めていきます。職場や地域の声を集め、医療と介護の現場の実態を広く国民に訴え、職場環境の改善や政策の実現に向けて取り組んでいきます。本日の集会を契機とし、私たち全員が「安心と信頼の医療と介護」を実現する当事者となり、「働くことを軸とする安心社会」をめざして行動していきましょう。

2023 年 5 月 20 日

日本労働組合総連合会

医療・介護フェス 2023 ～安心と信頼の医療と介護 中央集会～